

第8回我孫子市地域コミュニティ活性化基本方針策定委員会 会議概要

1. 日 時 : 平成25年4月6日(土) 9時30分から12時00分
2. 場 所 : 議会棟第一委員会室
3. 出席委員 : 坂口委員長/荒井委員/金川委員/上村委員/倉橋委員/
小林委員/近藤委員/佐々木委員/新保委員/鈴木委員/
多田委員/服部委員/早川委員/山家委員/吉村委員/
渡邊委員
4. 事務局出席者 : 枝村市民生活部長/四家市民活動支援課長/杉本市民活動
支援課主幹/小池主査長/松島主任/渡邊主事/杉山主任
5. 欠席者 : 石井委員、田島委員、吉田委員
6. 会議内容
 - (1) 作業部会の検討経過について
 - (2) 地域コミュニティに関する課題の現状と課題解決の方向性
 - (3) まちづくり協議会について
 - (4) 基本方針策定作業について
7. 傍聴人及び発言者の数 : 傍聴人1人 発言者の数1人
8. 決定事項
 - ・第9回策定委員会は5月11日(土)9時30分から12時00分に開催。

◆議事の内容

●作業部会の検討経過について	
委員長	布佐平和台防災組織の特徴と、一般的に応用できるものがありましたら、ご説明をお願いいたします。
委員	<p>昭和52年に布佐平和台自治会が発足し、11年後の昭和63年に「自主防災本部設置要綱」を制定しました。消防署との連携や保険センターの見学等の活動を実施していましたが、実態として機能していない反省から、防災組織の提言が行われ、メンバーの公募により平成19年に「防災委員会」を設立しました。防災委員会の構成メンバーは、40代の現役世代が4名、それ以外は定年退職した60代のメンバーで、教師や元自衛隊員、公認会計士など多様な人材を集めました。初めての集まりであったため、まずは意識統一のため1年半をかけて研修会を行い、平成20年にはマニュアルの作成し、実際に訓練を開始しました。訓練についても、まずは班長のみを対象としたものからはじめ、地区別訓練、総合訓練と段階的に進めてきました。</p> <p>布佐平和台地区は、東西2キロで横に長い土地になっています。地区割りをを行い、各地区の半径200メートルくらいのところに自主防災倉庫を作りました。現在では役員の交代時期には研修を行い、2ヵ月に1回は防災倉庫の点検と機材の使い方の訓練を行っています。年に地区支部の訓練、防災本部の訓練を行い、1回は総合訓練を行っています。</p> <p>課題としては、消防隊組織がいないため、大災害の場合は、初期消火の体制を構築しなくてははいけません。また、避難所運営体制の構築があります。防災訓練の中で、避難所運営ゲームという形で行っていますが、実際の災害には対応できないと考えられます。各自治会と協議を進めていく必要があると考えています。このままでは混乱の中で小学校の活用などうまくいかないのではないかと思います。</p> <p>他の自治会でできる活動としては、挨拶運動や楽しみながら地域活動に参加してもらおう仕組みづくりがあると思います。布佐平和台自治会では町名単位で顔の見える関</p>

	<p>係をつくるために交流会をしています。防災パトロールだけでなく、いろいろな行事を町名で行い、市より補助金を受けています。防犯パトロールを通じて仲間をつくっていくことが大切だと思います。</p> <p>自治会内に自治会だけでは無理なので、委員会組織を作り、防災組織を作ることがいいのではと思います。</p>
委員長	久寺家まちづくり協議会についてもご説明をお願いいたします。
委員	久寺家まちづくり協議会では、平成19年にお助け隊をスタートさせました。サポート隊員を呼びかけて活動を行っており、現在も続いています。活動は1時間500円の負担金をいただいております、その1割を運営費として入れています。各自治会にコーディネーターを置いています。運営体制としても、同じ自治会の人を助けに行くのではなく、隣の自治会を助けに行く形になっています。
委員	布佐平和自治会で行っている防災活動と自主防災組織連絡協議会は関連しているのですか。
委員	我孫子市自主防災組織連絡協議会というものがあり、平成24年3月まで役員をしていましたが、現在は、役員を交代し、市の役からは引いています。
委員	市の役からは、引いているということは、自主防災組織の活動と市の活動は別に行っているのですか。
事務局	自主防災組織と我孫子市自主防災組織連絡協議会との関係ですが、自主防災組織とはそれぞれの自治会で組織されて活動を行っているものです。自主防災組織連絡協議会は、それぞれの自主防災組織が集まって情報共有を行う場ではありますが、連絡協議会と自主防災組織が防災訓練等を直接共同で主催するなどのことは行っていません。
委員	私のところでもお助け隊のような活動はやっていますが、本来の活動は出来ていないのが実態です。現在はふれあいの会のようなものになっています。また、部屋に入る必要がある場合などはどのようにしていますか。問題は発生しないのですか。
委員	部屋に入るときは二人で入るなどの工夫をしています。まちづくり協議会の自主財源のほうで役員会の了承を得

	<p>て補助するなどの工夫を行い、うまくやっています。日中に動ける人が定年後の方ばかりなので、若い人がいません。高齢化が進んでいるので、継続できるかが心配です。</p>
<p>●地域コミュニティ活性化基本方針の構成について</p>	
委員長	<p>構成について意見はありますか。また、事務局は補足等があればよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>策定委員の皆様の意見の内容を分類いたしました。作業部会では「活性化の考え方」についていろいろな意見が出ましたので、これらをどのように記述していくかについて議論を行いました。意見としましては、まちづくり協議会を中心とした考え方、新しい具体的な考え方としてコミュニティセンターの設置、活性化について段階的に取り組んでいくという考え方、また、これまで議論してきた課題と方向性を中心としてまとめていく考え方がありました。特にまちづくり協議会について単独で取り上げるかどうかについて、みなさんから意見を伺いたいと思います。また、具体的な取組についてもご意見をいただいたのですが、コミュニティセンターについてご説明いただけますか。</p>
委員	<p>コミュニティエリアをどう考えたらいいのかという点がポイントになると考えています。我孫子市は東西に長い地域ですから、それらの地域を区切って全体をみていかなくてもはいけません。しかし、どのように区切るべきかはまだ考え中です。私は、まちづくり協議会を中心に考えるのは難しいと考えています。一方、自主防災組織を中心に考えるのはどうだろうと考えています。実際に動いている団体を中心に考えるべきだと思います。そして各団体の連絡協議会を作って、情報共有や協力するきっかけをつくるのがいいのではと思います。私が提案しているコミュニティセンターとは、我孫子市全体をまとめる中心センターとして、我孫子の情報を全てそこに集合させ、会議室等の場所も提供します。この中に我孫子市の協議会を作って市にも入ってもらい、予算の検討を行います。このように連絡をとりあい、予算についてもみんな考えていくまとまりがあるといいのではないかと</p>

	<p>考えています。そして報告会を年に1回（数回にわたって）行い、我孫子市コミュニティ協議会が主催になって市民に開かれたかたちで報告をしあうのはどうでしょうか。また、主に行政側の窓口を一本化してもらいたいです。いろいろな窓口を回らなくてはいけないのが大変です。一本化してもらって、進捗状況もわかるような形になっていると物事が実現しやすいし、目に見えているかたちになると、活動の士気も上がると思います。</p>
委員	<p>構成については、基本的なものは変わらないと思います。それよりも、これからの方向性について、もっと議論すべきではないかと思い、意見を書かせていただきました。現在ある組織を再評価して徹底的に活用することがいいのではないのでしょうか。新しいものをつくるというより、個々の戦略については、別にした方がよいと思います。地域の状況が違いますが、やはりまちづくり協議会のもともとの目的に立ち返るのがいいのではないのでしょうか。それには、今のまちづくり協議会の人材や組織の状況で任せることは難しいと思います。形から入るのも重要です。まちづくり協議会を本来の地域課題解決型組織に変え、そこに結集する流れでコミュニティ活性化の源流にすればよいのではないのでしょうか。その意味で、まちづくり協議会について、私は章として特出ししたほうがよいと考えていますが、作業部会委員の方で特出ししないという方向で固まりつつあるなら、それはお任せします。</p>
委員長	<p>私も同じ考えです。あえて新しい組織や施設を作らなくても、改めて活用することが重要ではないのでしょうか。また、行政の一本化という意見がありましたが、事務局いかがですか。</p>
事務局	<p>一本化については作業部会でも議論がありました。方向性として、行政の窓口を一本化すべきなのか、それぞれの部署で対応できればいいのか、コーディネートできる人材を設置すればいいのか等は、検討し報告します。</p>
委員	<p>コミュニティの活性化は、市民との協力がなくて出来ませんので、一般的な規則に則ったものはいいですが、なぜ今活性化が必要なのか、基本計画の目的、活性化の基</p>

	<p>本方針として、まちづくり協議会を中心にコミュニティを作るのかどうか、テーマ別の課題についても関連団体が緊急性の高いものから作り、最終的にコミュニティになるようにするのがいいと思いますが、そのような議論はできていません。組織構成をしっかりとすることが重要です。市民向けに基本方針を出すのであれば、優先順位をつけるなど、わかりやすく、メリハリのあるものをつくるべきだと思います。</p>
委員長	<p>構成としては、この形でよろしいですか。それでは、作業部会案のかたちで進めてください。</p>
委員	<p>第5章の地域コミュニティやエリアについては、流動的であるということよろしいですか。</p>
部会長	<p>第4章は各分野ということで、6つの項について自治会アンケートを通じ関心の多い部分を選ぶかたちで構成しています。地域から見えるコミュニティ活性化ということで、各地区の特性、他地区から見て参考になる特徴的活動を書きます。高齢化や人口密度が違うので、特徴的な部分を記述していくことになるかと考えています。</p>
委員	<p>内容はこれでいいと思いますが、基本方針の構成の第6章に「活性化をする仕組み」がきていますが、これは前にくるものではないでしょうか。委員がおっしゃったような戦略と戦術を考えるという視点では、仕組みそのものを冒頭におくべきではないかと思います。</p>
委員	<p>基本方針を作っていくにあたっての今後の進め方については、課題からスタートして議論をしていくのがいいのではないのでしょうか。大きな戦略的な流れの支点をどこに置くのが重要です。章立て自体を議論するよりも、その背景となる考え方についてもっと議論するべきだと思います。</p>
委員	<p>組織のあり方については、地区別に選択できる形にするという方法もあるのではないかと思います。</p>
委員	<p>本来は自治会連合会が基本だと思いますが、急には出来ないので、まちづくり協議会に頑張ってほしいです。</p>
委員長	<p>作業部会のほうでまちづくり協議会について議論をしていただいたとのことで、作業部会からご説明いただければと思います。</p>

委員	<p>まちづくり協議会は、行政の組織ではなく地域住民を中心とした組織です。その意味で、活動の目的を市の方針で規定することはできないと考えています。これからつくるのであれば、こういう団体であることが望ましいと書くこともありえますが、まちづくり協議会は、それぞれ目的があり、歴史があります。地域課題の解決を各まちづくり協議会が目的にしているわけではありません。近隣センターの運営と近隣センターで行っている実施の内容は担っています。その委託内容を行政側が変更することはできると思いますが、実際に今のまちづくり協議会が課題解決の委託を受けることは難しいだろうと思います。意見交換会でも地域課題の解決までは無理という意見も大多数だったわけですが、その役割をどのような団体が担っていくべきなのかは考えるべきだと思います。章立てで言えば、地域コミュニティの将来像、第2章の2のところを含めていくべきだと思います。</p>
部会長	<p>まちづくり協議会のあり方を外部から言うのは難しいと考えています。全く関係ないということでもなく、一方でまちづくり協議会を特質対処すると他団体が誤解する可能性もあるので、まちづくり協議会も含めた活動を記述していくというのが作業部会としての基調です。2章で目指すべきイメージ像を出し、3章5章で課題を積み上げ、第6章で具体性を記述します。</p> <p>優先順位については、地域によって違うと思うので、ゴールや達成したいものは書きますが、それに向けての順番や時期はそれぞれの団体で個別的に考えていくべきで、書くことはないと考えています。</p>
委員	<p>近隣センターがコミュニティ活動の中心的な拠点として機能していることは確認されています。しかし、まち協については、触れていません。箱としての近隣センターとソフト面でのまちづくり協議会については、別個で考えるべきではないかと思います。</p> <p>また、コミュニティセンターについては、地域の状況がちがうので、あまり意味がないのではと思います。</p>
委員	<p>ばらばらになっている我孫子のまちづくり協議会をまとめることは難しいのではないのでしょうか。分野別にどう</p>

	<p>するのかを検討したうえで、その中での組織のあり方を検討するのはいかがでしょう。</p>
委員長	<p>そのような意味で、段階的にすすめていくことを提案していただいているのですね。作業部会では委員の提案を踏まえて検討していただきたいと思います。</p>
委員	<p>まちづくり協議会に、もう少し進んだ活動を頼むことは難しいだろうと考えて、章の中に特出しをするのは厳しいのではと作業部会の中では話していました。将来像については、まずぼんやりとした形で表現し、検討内容を書いたうえで具体的仕組みを書くべきではないかと思えます。</p>
委員	<p>私は、先に出して市民の人に考えてもらう必要があると考えています。コミュニティ整備計画を見直しましたが、そこに書かれている目的別の部会を持っているまちづくり協議会は実際にあるのですか。</p>
事務局	<p>分野で持っているところはありませんが、ふさの風については、震災対策の部会は立ち上がっています。</p>
委員	<p>私は、まちづくり協議会が唯一ない地区から出ています。色々なまとまりかたが想定されるかたちで書いていただけると、我々もまとまりやすいのではないかと思います、まちづくり協議会を章立てで特出しにしない形に賛成しました。</p>
委員	<p>近隣センターを拠点と考えると、まちづくり協議会はとても大切だと思います。私はまちづくり協議会の役員をやっていますが、15の自治会があり、年に数回集まりますが、なかなか新しい人が出てこないなどの事態があり、意識の温度差があります。</p> <p>委員同士を仲良くする交流会や近隣センターを使っているサークルと一緒に活動するなどの工夫をしようとしており、それがまち協の活性化になるのではと考えています。</p> <p>いっぺんに組織をまとめることは難しいと考えていますが、まちづくり協議会を中心にゆるやかな形で何となくまちづくり協議会が中心になるような形にすることもできると思います。また一方で、自治会側もまちづくり協議会について受け止める必要があると思います。</p>

委員長	これを機会に、まちづくり協議会の方にも改めて役割を認識してもらいたいかもしれませんね。
委員	消防団との関わりが重要です。火災が起きたときに、消防署は火を消してくれますが、その後の片付けをしてくれるのは消防団です。自主防災組織は消防団との連携が必要だと考えています。
委員	策定の目的ですが、ここに書かれる内容は、今日配布されたものが基本となると思いますが、委員がおっしゃっていたように、市民に分かりやすく、市民にとって必要を感じられるようなアイデアがあれば意見が欲しいです。
委員	たしかにこのままでは説得力がないと思います。特に財政的に厳しくなっていて、自分達が活動を行う必要があることを認識できるような内容にする必要があると思います。
事務局	目的については、この文章をそのまま使うということではありません。地域の方が読むものなので、表現等は分かりやすいようにします。他にも基本計画等を参考に文章をつくっていきます。 また、まちづくり協議会についてですが、総合計画でもそれぞれの地域に合わせたコミュニティづくりということをうたっていますし、実際に湖北台地区などを例に、自治会連合会等の組織が活躍している例もありますので、コミュニティの構造については、地域ごとに考えていただけるようなかたちにするのがいいのではないかと考えています。
委員	まちづくり協議会が重要な場所にあるとは思いますが、うまくいくのか難しいなと思っています。
委員	担い手を見つけるのが大変です。自治会からパトロールをやらしてもらえないかということもありましたが、余計に担い手がいなくなってしまうので自治会でやっているのが現状です。まち協は温度差も違いますし、まとめることと、まとまることも違うと思いますし、ここで協議することは難しいと考えています。
委員長	努力目標でいきましょうか。
委員	この地区別の中で、それぞれの活動について紹介して他

	の地区での参考とするのであれば、このエリア設定では広すぎるのではないのでしょうか。このエリア設定については、作業部会で議論いただきたいです。
委員長	5つに分けて、さらに小さな単位で記述するかたちも考えられます。
委員	アンケートの中で抽出されたということなのでいいと思います。
委員	定年退職後も働く人が増えており、実質的には地域に戻ってくる年齢が上がっていて、70歳くらいになっているのではないのでしょうか。そのあたりの実態を踏まえて議論を進める必要があると思います。
委員	このコミュニティの将来像について、意見がほしいです。
部会長	まだこちらについては、議論が進められていませんので、皆さんの意見を聞かれたうえで明確な形にしたいと思っています。
●今後の進め方について	
事務局	主な章立てについて決定しましたので、この形で記述を進めていきます。策定委員の方には2,3章ごとに確認していきたいと考えています。まずは作業部会案を出して策定委員の方に投げます。そこで意見を吸い上げ、策定委員会で決めていきたいと考えています。今回は、豊中市のものを参考資料として出しています。これは参考ですが、もっと具体的なものがないなどの意見をください。地域内の連携についても意見をいただきたいです。地区についても記述していくので、何か特徴的なものがあれば内容を教えていただきたいです。それについては、事務局で調査書を作り皆様にお送りいたします。
委員長	まちづくり協議会の意見交換会は終わっているのですか。
事務局	終わっています。現在資料を作成しています。
委員	資料でもらっている自助共助の図が大事だと思います。
委員	自助共助のバランスのとれたまちのあり方を市民に提案していく必要があると思います。
委員	総合型の地域スポーツクラブをどこまで把握しているのか調べてもらいたいです。
事務局	総合型の地域スポーツクラブについて調べます。

委員	資金や組織運営については一緒に議論することとなるのではないのでしょうか。9項目でそれぞれ検討はしたが、方針のなかでは、まとめて整理した方がいいと思います。資金や組織運営については、みんな一緒に課題を持っているので、組織運営についてまとめて書いたほうが分かりやすいと思います。
部会長	まとめて書くと、解決方法もまとまってしまいます。それぞれの項目を個別で書いて、その中で解決の方向性をそれぞれの組織が決める、活動していくことを考えています。
委員	解決方法など重なる内容が出てくるのではないのでしょうか。
部会長	まとめて書くと堂々巡りになってしまう危険があります。
委員長	一応、この内容については一度やっているもので、重なるところは工夫するということで参考にさせていただけたらいいと思います。
事務局	具体的な記述を進めていく中で検討していきます。
●次回の日程について	
	第8回策定委員会は5月11日（土）に開催決定。それまでの期間中に、策定委員への地区別に関する調査を行い、作業部会で検討する。